

## 事務事業評価における総括

部 局 名	文化生涯学習部	記入責任者	鈴木 深雪
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>文化生涯学習部の業務計画に位置付けた重点事業である、文化生涯学習課の生涯学習の機会の提供は、目標値としている自主企画講座の開催が出来なかったことから、C評価としています。文化生涯学習部の業務計画に位置付けた事業では、30事業のうち24事業がS評価、A評価としたものが1事業、B評価としたものが2事業、目標値は達成できなかったが、成果は今後見込めるとして1事業をC評価としていることから、概ね順調に進捗しています。</p> <p>※30事業のうち2事業は、平成29年度より健康増進課に移管したため文化生涯学習部では評価していません。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C評価とした生涯学習の機会の提供については、地域に根ざした学習活動の促進のため、市民主導で様々な講座等を実施していますが、目標とした講座数に達しなかった主な要因としては、まなびの市民講師の登録数が目標値を下回ったことがあげられます。また、講師の自己都合や他の活動との関連等により、講座を開催できなかった講師もいることも影響しています。今後は支援者養成研修や発表の場の提供等を通して講師の自主企画講座開催を支援し、講座開催数の増加を図ります。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>文化生涯学習課及びスポーツ推進課の指定管理に関する事業等につきましては、目標値は達成していますが、時代に即した行政経営の基本方針2017（C3 成長加速化方針）を踏まえた公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団への支援策等について研究を進めます。</p> <p>男女共同参画課の男女共同参画社会の実現に向けた啓発等推進事業につきましては、行革重点推進事業として男女共同参画啓発講座の神奈川県との共催化に取り組んだ結果、費用を縮減できたほか、受講者数を伸ばすことができました。その結果、事務事業の目標値は達成することはできましたが、施策目標の指標である「男女の地位が平等である」という市民の割合の増加にはつながらず、目標値を達成することができませんでした。今後は、講座内容がマンネリ化しないように見直しを図るとともに、様々な年齢層に訴求効果のある講座の企画を行ってまいります。また、引き続き庁内各課かいとの連携を図り、地域への男女共同参画の推進にも取り組んでまいります。</p> <p>順調に進捗している事業については、今後も引き続き進めるとともに、行政から民間にシフト出来るものの見極めや、業務に係る人工の見直し、市民ニーズを踏まえた事業の統合・廃止を行い、今後成果が見込まれる事業について費用対効果を十分に勘案し、成果が現れるように重点的に資源の注入を行います。また、各事業を進めるにあたり、事業進捗状況を的確に把握し、関係部局と組織横断的な調整や、関係機関、関係団体等と連携・協力しながら進めるとともに、働き方の見直しについても念頭に置きながら進めます。</p>			